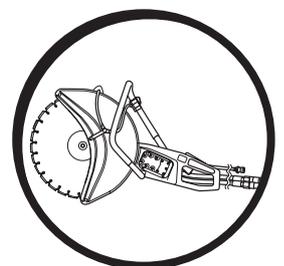


取扱説明書

K2500



この説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、パワーカッターを使用するようにしてください。

Japanese

シンボルの説明

警告！パワーカッターは危険を伴う道具です。不注意な使用や不適切な使用をされま
すと、使用者やその他の人々が重傷や致命
傷を負う危険性があります。



この説明書をよく読み内容をしっかり把握
したうえで、パワーカッターを使用するよ
うにしてください。



常に以下のものを着用してください：

- 正規の保護ヘルメット
- 正規のイヤマフ
- 保護メガネまたはバイザー
- 切削によって、吸い込むと気道傷害の原
因となる多量の粉塵が発生します。用途
に合った呼吸マスクを使用してくださ
い。常に換気を十分におこなってくださ
い。

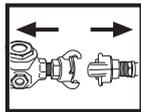


この製品はEC規格適合製品です。



パワーカッターに付いている他のシンボル/銘板はそれ
ぞれの市場地域に向けた特別な認定条件を示します。

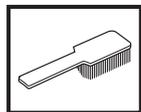
パワーカッターの点検やメンテナンスの前
には常に油圧ホースを外してください。



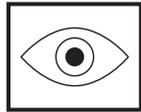
常に正規の保護手袋を着用してください。



定期的な清掃をおこなってください。



目視検査をしてください。



保護メガネやバイザーを必ず着用してくだ
さい。



目次

シンボルの説明

シンボルの説明 2

目次

目次 3

各部名称

パワーカッター各部の名称 4

安全注意事項

パワーカッターを初めてお使いになる前に..... 5

身体保護具 5

パワーカッターの安全装置 5

パワーカッターの安全装置の点検、メンテナンス、サービス 6

一般的な安全対策 6

作業に関する一般的な注意事項 7

カッティングブレード 9

組立

組立 11

カッティングブレードの取り付け 11

カッティングブレードのガード 11

始動と停止

始動と停止 12

メンテナンス

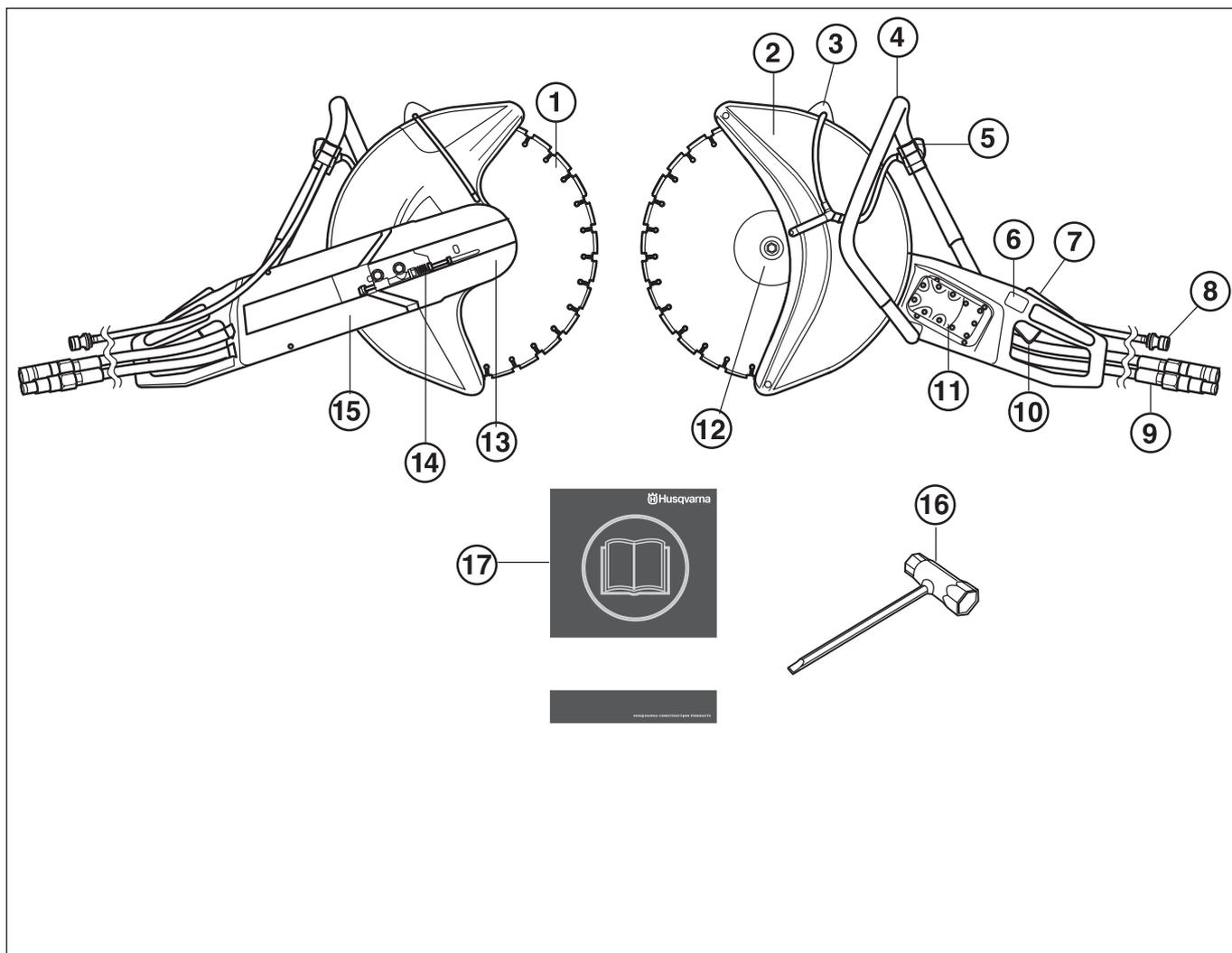
メンテナンス 13

主要諸元

カッティング装置 15

EC適合宣言 15

各部名称



パワーカッター各部の名称

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1 カuttingブレード | 10 スイッチ |
| 2 カuttingブレードのガード | 11 油圧モータ |
| 3 ガードの引っ掛け | 12 フランジワッシャ |
| 4 フロントハンドル | 13 ベルトガード |
| 5 ウォータータップ | 14 ベルトテンショナ |
| 6 定格銘板 | 15 カuttingアーム |
| 7 スイッチロック | 16 コンビレンチ |
| 8 フィルター付きウォーターコネクション | 17 操作マニュアル |
| 9 油圧ホース | |

パワーカッターを初めてお使いになる前に

- この機械はフリーハンド式の切削を行う油圧で作動するパワーカッターです。このパワーカッターは流量35-42 リットル/分、最大圧150バール仕様の油圧ユニットに接続してください。
- 「操作マニュアル」をよく読んでください。
- カuttingブレードの取り付け状態を点検する。「組立」の章を参照してください。

調整や修理などの重要な点検は、お近くの Husqvarna 販売店にお任せください。



警告! いかなる場合にも、製造業者の承認なしにパワーカッターのオリジナルデザインを変更することは絶対に認められません。常に純正の付属品を使用してください。承認を得ない変更、付属品の代用によって、作業者や他の人々が重傷や致命傷を負う結果となることがあります。



警告! 切削や粉碎、穴あけ、研ぎ、形成作業により、素材によっては粉塵や有害な化学物質を含む気体を生じることがあります。加工対象の素材の性質を理解し、適切な防じんマスクや呼吸用保護具を着用してください。



警告! 不注意な取扱や誤った取扱をすると、パワーカッターは危険であり、重傷や時には致命傷の原因となります。本書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。

ハスクバーナ・コンストラクション・プロダクツは継続的に製品の開発をおこなっています。ハスクバーナは設計や外見などを予告なく変更する権利を有し、また、デザイン変更をそのつど発表する義務を負いません。本書の情報およびデータのすべては、本書の印刷時に有効なものです。

身体保護具

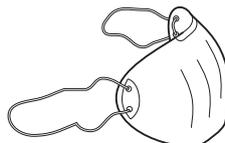


警告! パワーカッターを使用するときは常に、認定された身体保護具を着用しなければなりません。身体保護具を着用したからといって、けがをする危険性をなくすことはできませんが、事故が起こったときけがの程度を軽減することができます。身体保護具の選択に関しては、販売店にお尋ねください。

- 保護ヘルメット
- イヤマフ
- 保護メガネまたはバイザー



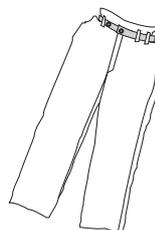
- 呼吸マスク



- 高耐久性で、握りが確かな保護手袋



- 体の動きを制限することがなく、かつ体のサイズに合った丈夫で快適な服装



- 加工対象物に対応したレッグガードを使用してください。
- つま先が金属製で、スリップ防止底のブーツを着用



- 救急箱は常に近くに用意しておきます。



パワーカッターの安全装置

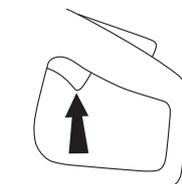
この項では、パワーカッターの安全装置とその目的、また、安全装置が正確に動作するための点検とメンテナンスの方法について説明します。安全装置がご使用のパワーカッターのどこに配置されているかについては、「各部名称」の章を参照してください。



警告! 安全装置に欠陥のあるパワーカッターは、決して使用しないでください。この項に記載された説明に従って点検、メンテナンス、サービスをおこなってください。

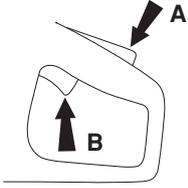
スイッチ

スイッチは、パワーカッターを始動、および停止する場合に使用します。



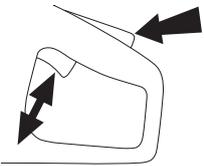
スイッチロック

スイッチロックはスイッチが間違っても作動しないように設計されています。スイッチロック(A)を押した時、スイッチ(B)が解放されます。



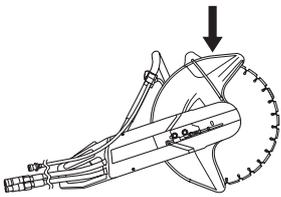
スイッチが押されている間、スイッチロックは押された状態を保ちます。

ハンドルのグリップを開放すると、スイッチとスイッチロックがリセットされます。それぞれ別の2つのリターンスプリングシステムがこの動きを司っています。この位置にすると、パワーカッターが停止しスイッチがロックされます。



カッティングブレードのガード

このガードはカッティングブレードの上方に取りつけてあり、操作者に向かって飛んでくる刃の一部や切削のかげらを防ぐように設計されています。



パワーカッターの安全装置の点検、メンテナンス、サービス



警告！パワーカッターに関するすべてのサービス、修理をするには、特別な研修が必須です。パワーカッターの安全装置に関しては特に研修が重要です。ご使用のパワーカッターに、1つでも下記の点検項目を満たさない点がある場合は、サービス代理店に連絡してください。弊社の製品は、購入後の専門家による修理とサービスが保証されています。弊社の代理店からの購入でない場合でも、最寄りのサービス代理店の住所を遠慮なくお尋ねください。

スイッチの始動と停止機能を点検する

パワーカッターを始動させ、スイッチを解放し、エンジンとカッティングブレードが停止することを確認します。

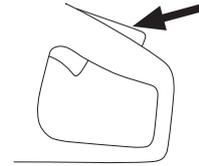


スイッチロックの点検

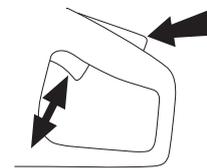
スイッチロックが元の位置にあるときは、スイッチがロックされていることを確認します。



スイッチロックを押し、次に解放したとき、元の位置に戻るかを確認します。



スイッチとスイッチロックが自由に動くことと、リターンスプリングが正しく作動していることの2点を調べます。



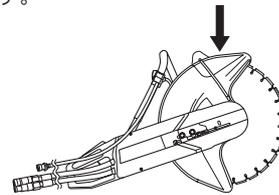
パワーカッターを始動し、スイッチを解放し、エンジンとカッティングブレードが停止することを確認します。

ブレードガードの点検



警告！毎回、ブレードガードがずれていないかどうかを確かめてからマシンを起動してください。カッティングブレードが確実に固定されているか、そして損傷の兆しがないかどうかを調べてください。カッティングブレードの損傷は人身事故の原因になり得ます。「組立」の項の説明を参照してください。

ガードにひび、歪みがなく完全な状態であることを確認します。



一般的な安全対策

- パワーカッターはコンクリート、石、鋼鉄、鉄など固い物質を切削するように設計されています。柔らかい物質を切削する時にはキックバックが起きる危険性が増すことに注意してください。「キックバックを避ける方法」の項の説明を参照してください。
- パワーカッターの使用は、「操作マニュアル」をすべて読み終えてからにしてください。パワーカッターの「安全装置の点検、メンテナンス、修理」の項で表示されている事項だけでなく、すべてのサービスは研修を受けたサービス専門家によっておこなわれるべきです。
- 疲れている場合や、アルコールを飲んだ場合、または、視覚、判断力、自身の動きのコントロールに影響をおよぼす薬を服用しているときは、パワーカッターを絶対に使用しないでください。

安全注意事項

- 身体保護具を着用してください。身体保護具の項の説明を参照してください。
- 元の仕様に変更が施されたパワーカッターは、いかなる変更であっても絶対に使用しないでください。
- 故障したパワーカッターは絶対に使用しないでください。このマニュアルに記載された説明に従って点検、メンテナンス、サービスをおこなってください。メンテナンスとサービスには研修を受けたサービス専門家によっておこなわれるべきものがあります。「メンテナンス」の項の説明を参照してください。
- パワーカッターを人に貸すときは、借りる人が「操作マニュアル」の内容を理解したことを確認してから貸してください。

運搬と保管

カッティングブレードを取り付けたままでパワーカッターを運搬したり保管しないでください。

パワーカッターは、子どもや不適格者が触れることができないように鍵をかけて保管します。

すべてのカッティングブレードは使用した後必ずカッターから取外し、注意して保管してください。カッティングブレードは乾いた霜のつかない状況下で保管してください。

研磨用のディスクには特別な注意が必要です。研磨用のディスクは必ず水平な平面に保管してください。ブレードにバックパッドが付いている場合は、スペーサーを使ってブレードを平らに保つようにしてください。研磨ディスクを湿気の多い状況で保管するとそれが不均衡さにつながり、けがの原因になります。

新品のブレードは、運搬や保管による損傷がないかどうか点検してください。

作業に関する一般的な注意事項



警告！この項ではパワーカッターを使うための基本的な安全規則を説明します。記載された情報は、専門の技術や経験に相当するものではありません。安全性に懸念が生じたら、作業を停止し、専門家のアドバイスを受けてください。販売代理店、サービス店、または経験の豊富なパワーカッターユーザーにご相談ください。確信のないときは作業をおこなわないでください！

基本的な安全規則

- 周囲を確認します：
 - 人々や動物、あるいはなにか他の事物によって、パワーカッターの制御に悪影響が及ばないようにします。
 - 上記の人や事物などがカッティングブレードに接触しないことを確認します。
- 深い霧、雨、強風、極寒状態といった悪天候下での使用はさけてください。悪天候下での作業は疲れやすく、さらに地面が滑りやすくなるなどの危険な状況におちいることがあります。
- パワーカッターを使って作業を開始するのは、必ず作業場が整い安定した足場が準備できてからにしてください。なにか障害物の予期せぬ動きを警戒してください。切削中に材料が動きやすくなり落下することのないように注意してください。労働災害の原因になることがあります。

傾斜地で作業をするときは、十分な注意が必要です。

- カッターが回転しているときは、衣服や身体の一部がカッティング装置に接触することのないように注意してください。
- カッターが回転しているときは、カッティング装置から安全な距離を保ちます。
- パワーカッターが作動しているときは常にガードが付いていなければなりません。
- 安全な作業環境には、十分な照明が不可欠です。
- カッターが回転しているときはパワーカッターを移動しないでください。
- 常に安全で安定した姿勢を保って作業するよう心がけてください。
- 切削箇所にパイプや電気ケーブルが通っていないことを確かめてください。

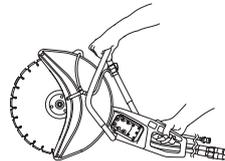
切削



警告！パワーカッターからの安全な距離は15メートルです。作業場所に動物や見物人がいないように責任をもって確認してください。パワーカッターを使って作業を開始する前に、作業場が整い、作業者がしっかりと立ることを確認してください。

一般的注意事項

- パワーカッターを最大速度で作動させ、切削を開始します。
- 常に両手でパワーカッターをしっかりとつかみます。親指をかけすべての指でしっかりとハンドルを握ります。

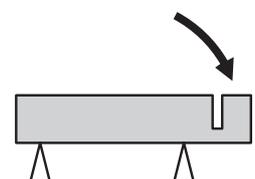
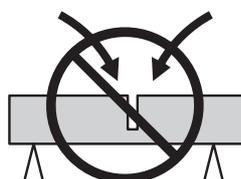


警告！振動に過剰にさらされると、血行障害を患っている人は血管や神経を損なう可能性があります。過剰に振動にさらされたことが原因で身体に症状が出たと考えられる場合は、医師の診察を受けてください。症状例には、しびれ感や、感覚の欠如、むずむず感、ちくちくした感覚、痛み、体力の減少、皮膚の色や表面の変化などがあります。これらの症状は、一般に指や手、手首に現れます。

切削のテクニック

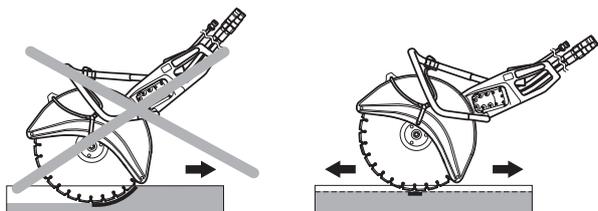
次に説明するテクニックは一般的なものです。それぞれの切削タイプに関してはブレードの詳細を参照してください。たとえば、ダイヤモンドブレードの送り圧力は研磨ディスクより低くなっています。

- 切削対象物は、次に起こることが予想でき、切削中に切れ目が開いたままになるような支え方をしてください。



安全注意事項

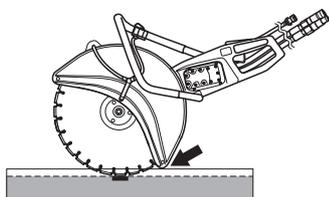
- パワーカッターが始動したときに、ブレードがいかなる物にも接触していないことを確認します。
- 常に最大速度で切削してください。
- 最初はスムーズに切削を開始し、パワーカッターがブレード部分で無理にまたは力を入れずに作動するようにさせます。
- ブレードをゆっくり前方および後方に移動させ、ブレードと切削する物質の間に僅かな接触面を形成します。これにより、ブレードの温度を下げ切削が効率よく行えます。



- ブレードとパワーカッターは一直線になるように動かします。横からの圧力がブレードにかかるとうブレードに損傷を起こし大変危険です。



- ガードの後部が作業物体に近接する位置になるようにガードを調整します。切削片鱗や火花はガードに阻まれて作業者に向かって飛んで行きません。



警告！いかなる場合も、ブレード側面を使って切削することは避けてください。ほぼ確実にブレードが損傷を受けたり壊れたりし、重大な被害につながることもあります。カットングの部分だけを使用してください。

ブレードを片側に傾けないでください。ブレードが詰まったり壊れたりし、結果として人体への傷害を引き起こすことがあります。

ダイヤモンドブレードの目立

送り圧力が適切でなかったり、強化コンクリートなどある種の物質を切削するときに、ダイヤモンドブレードの切れが悪くなる場合があります。切れ味の悪いダイヤモンドブレードを無理に使うと、過熱状態になり、ついにはダイヤモンド粒子が脱落しやすくなります。

砂岩や珪石れんがなどの柔らかい材質の物でブレードを研いでください。

ブレードの振動

ブレードに余剰な送り圧力をかけると、歪みが生じ振動が発生します。

送り圧力を低くすると振動は停止します。振動が止まらない場合はカットングブレードを交換してください。ブレードは切削する物質に合わせた推奨タイプを選ぶ必要があります。

キックバックを避ける方法



警告！キックバックは突然、強い力で起こることがあります。パワーカッターとカットングブレードが、作業者に向かってものすごい力ではじき返されます。カットングブレードが回転しているときに、キックバックが起こると、重傷かときには致命傷を負うことがあります。キックバックが起こる原因を理解し、キックバックを避けるように注意を払い、正しい使用方法を用いることが重要です。

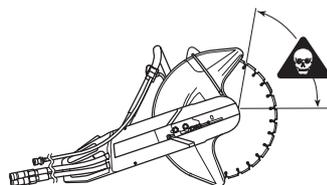
キックバックとは何か？

キックバックとはパワーカッターが突然はじき返される現象です。キックバックゾーンと呼ばれるブレード上部の四分の一が物に触れるとパワーカッターとカットングブレードがはじき返されてしまいます。

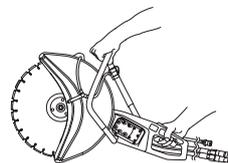


一般的な規則

- 絶対にカットングブレード上部四分の一 (キックバックゾーン) で物を切削しないでください。



- 常に両手でパワーカッターをしっかりとつかみます。親指をかけたすべての指でしっかりとハンドルを握ります。



- バランスを保ち、しっかりした足場を確保してください。
- 常に最大速度で切削してください。
- 対象物から適度に離れた位置に立ちます。
- 既存の切れ目にブレードを挿入するときは注意してください。
- 肩より上の高さで切削をしないでください。
- 工作物の動きやその他の起こりえるどんなことに対しても油断をしないでください。切れ目が閉じたりブレードが挟まれたりすることがあります。

安全注意事項

プルイン

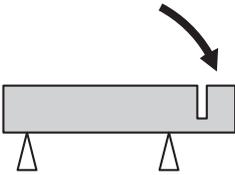
プルインは、ディスクの下の方の部分が突然停止したり切れ目が閉じたりするようになるときに、発生します。(これを避けるには、「基本的な規則」と下記の「挟み込み/回転」の項を参照してください。)

挟み込み/回転

切れ目が両側から押しつけられるようなことになれば、これが挟み込みにつながります。パワーカッターが突然強い動きで下方に引っ張られます。

挟み込みを避ける方法

切削中も切削が終了するときも、切れ目が開いたままになるように工作物を支えます。



カッティングブレード



警告！カッティングブレードが破断して作業者がけがをすることがあります。

パワーカッターの定格速度以下でカッティングブレードは使用してはいけません。

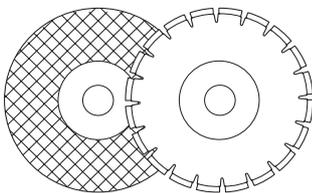
カッティングブレードを、絶対に本来の目的以外の物質に使用しないでください。



警告！ダイヤモンドブレードまたはレスキューブレードを使用したプラスチックの切削は、切削中に摩擦熱で材料が溶解しブレードが材料と付着してキックバックを起こす原因となります。

一般的注意事項

カッティングブレードには研磨ディスクとダイヤモンドブレードの2種の基本仕様があります。



パワーカッターを運搬する時は常にカッティングブレードを外します。

パワーカッターにカッティングブレードを取り付ける軸受けが正しいものであることを確認します。「カッティングブレードの取り付け」の項の説明を参照してください。

高品質のブレードは、ほとんどの場合、最も経済効果が高くなります。品質の劣るブレードの場合、通常切削量においても耐用年数においても劣ります。結果的に加工対象物あたりでは高い費用がかかることになります。

水冷



警告！コンクリートを切削するときに行う水による冷却は、カッティングブレードを冷やし、粉じんを減らすだけでなくカッティングブレードの耐用年数をのばします。主な欠点には、非常な低温では使いにくいことと、床や建物の他の部分を傷つける可能性があること、滑りやすくなることなどがあります。

水冷しながら研磨ディスクを使用した後は、カッターを約30秒間回転させてブレードを乾燥させます。研磨ディスクを湿気の多い状態で保管するとそれが不均衡さにつながり、けがの原因になります。

携帯式高速パワーカッター

当社のカッティングブレードは高速な携帯式パワーカッター用に作られています。他のメーカーのブレードを使う場合は、それがこの種のパワーカッターに関する規則と条件に適合していることを確認してください。

特殊ブレード

固定装置用に作られたカッティングブレードもあり、それは付属品と共に用いられます。その種のカッティングブレードは携帯できるパワーカッターに使用してはいけません。

必ず地方自治体と連絡をとり、法的規制から外れていないことを確認してください。

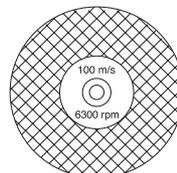
研磨ディスク

研磨ディスクの切削材質は、有機結合剤によって結合された研磨粒子で構成されています。強化されたブレードは、万一最大運転速度でブレードがひび割れたり傷がついても、全面的な破損を防ぐ布や繊維をベースに作られています。

カッティングブレードの性能は、研磨粒子のタイプとサイズ、そして結合剤のタイプと硬度で決まります。

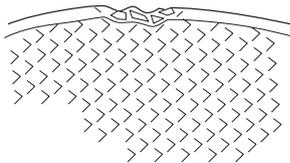
研磨ディスク、型と用途		
	用途	
ディスクの型	切削材料	水冷
コンクリート	コンクリート、アスファルト、石材、鋳鉄、アルミニウム、銅、真鍮、電線、ゴム、プラスチック等。	ほこりを軽減するために使える。水冷しながら研磨ディスクを使用した後、約30秒間ディスクを乾燥。
金属	鋼鉄、鋼鉄合金、他の超硬合金。	勧められない。

ブレードの認められた速度が、エンジンに付いている認可プレートに記載されている速度と同じかそれ以上であることを確認してください。パワーカッターの認めるスピード以下のカッティングブレードは使用してはいけません。



安全注意事項

ブレードにひび割れや傷がないことを確認してください。



研磨ディスクを指にかけ、ねじ回しまたは同等な物を使用して軽く叩いてテストしてください。もしディスクが共鳴音を出さなければ、そのディスクは損傷しています。

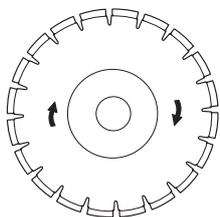


ダイヤモンドブレード

ダイヤモンドブレードは鋼鉄の本体に工業ダイヤモンドを含んだ部分から構成されています。

ダイヤモンドブレードは切削作業1回当たりのコストが低く、ブレードの取り替えが少なく、切削深さが一定であるという特性があります。

ダイヤモンドブレードを使用するときは、ブレードに印された矢印の方向に回転していることを確認してください。



常に鋭利なダイヤモンドブレードを使用してください。砂岩やれんがなどの柔らかい材質の物に切り込むことでブレードを研いでください。

ダイヤモンドブレードは異なる硬種をご用意しています。「ソフト」ダイヤモンドブレードは比較的短い耐用年数で大きな切削能力を持ちます。この種類のブレードは花こう岩や硬質コンクリートといった固い物質を切削するように設計されています。「ハード」ダイヤモンドブレードは長い耐用年数で切削能力が抑えてあり、れんがやアスファルトのような柔らかい物質を切削するように設計されています。

切削材料

ダイヤモンドブレードは石材、強化コンクリート、複合材料に最適です。ダイヤモンドブレードは金属の切削には推奨しません。

水冷切削のダイヤモンドブレード



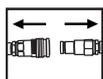
警告！オーバーヒートを防ぐために、水を使ってダイヤモンドブレードを連続的に冷やします。オーバーヒートするとブレードが壊れ、飛び散る破片によってけがの原因になります。

水を使ったダイヤモンドブレードによる切削はブレードに水をかけながら切削し、ブレードを冷却し埃を固めます。

水冷不用切削のダイヤモンドブレード

ドライ・ダイヤモンドブレードは、水冷を必要としない新型ブレードです。しかし、ブレードはやはり過熱によって損傷を受けます。ブレードを切れ目から30～60秒ごとに持ち上げ、空中で10秒間回転させれば、経済的にブレードを冷やすことができます。

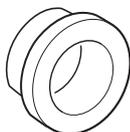
組立



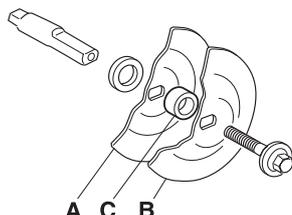
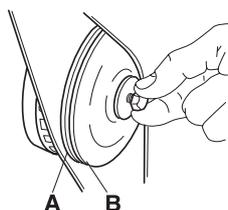
警告！パワーカッターの清掃、組み立て、メンテナンスの前には常に油圧ホースを外してください。

カッティングブレードの取り付け

Husqvarna 社のブレードは携帯パワーカッター用として認可されています。ブレードには中央の穴の直径の違いから3種類あります: 20 mm (0.787"), 22.2 mm (7/8"), 25.4 mm (1")。軸受けはパワーカッターの軸に固定してパワーカッターがブレードの中央の穴と一致するように調整することができます。軸受けは適切な直径のものを使用してください！ブレードには中央の穴の直径が印されています。



ブレードは、内側フランジワッシャ(A)とフランジワッシャ(B)の間にある軸受け(C)に付けます。フランジワッシャを回し、回転軸にしっかりと付けます。



ブレードを固定するねじの締め付けトルク:15-25 Nm (130-215 in.lb)。

軸はベルトガードの穴にねじ回しか同等のものを挿入してロックできます。

ダイヤモンドブレードをパワーカッターに取り付けるとき、ダイヤモンドブレードが、ブレードに印された矢印の方向に回転するように注意して取りつけてください。

新しいブレードに交換する場合は、フランジワッシャとドライブシャフトを点検してください。「ドライブシャフトとフランジワッシャの点検」の項の説明を参照してください。

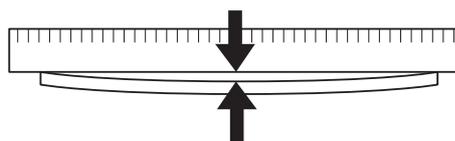
ドライブシャフトとフランジワッシャの点検



ドライブシャフトのねじ山に損傷がないかどうかを確認します。

ブレードとフランジワッシャの接触面に損傷がなく、サイズが正しくドライブシャフトを正確に回転し、異物が混入していないかどうかを確認します。

歪み、切り欠け、凹み、汚れのあるフランジワッシャを使用しないでください。違ったサイズのフランジワッシャは使わないでください。



カッティングアーム

カッティングアームを 180° 回してブレードをカッティングアームの反対側に位置させることも可能です。これにより壁や床などの障害物に近づいた部分の切削を容易にすることができます。ドライブベルトを交換するときカッティングアームとドライブベルトは同様に開放されます。「ドライブベルトの交換」の項の説明を参照してください。

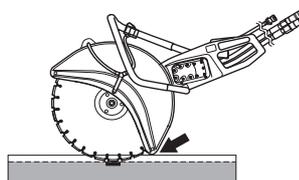
アームを 180° 回し、パーツを交換した後、元の通りにねじを締めます。

ダイヤモンドブレードを使用している場合は、ブレードを付け替えて正しい方向に回転できるようにします。ダイヤモンドブレードはブレードに表示されている矢印の方向に回転させます。

ブレードのガード

ブレードガードは必ずパワーカッターに取り付けてください。

ガードの後部が作業物体に近接する位置になるようにガードを調整します。切削片鱗や火花はガードに阻まれて作業者に向かって飛んで行きません。



始動と停止



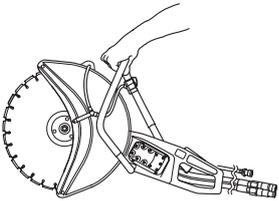
警告！始動する前に以下のことに注意してください。

足場が安定しカッティングブレードに接触するものが一切ないことを確認してください。

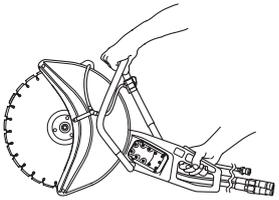
作業場所に動物や見物人を近づけないようにしてください。

始動

- 左手でフロントハンドルを握ります。

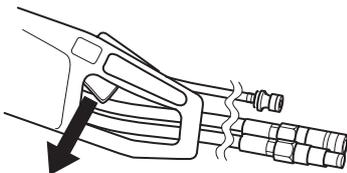


- 右手でリヤハンドルを握ります。リヤハンドルを握ると、スイッチロックが開放されます。



停止

スイッチを解放してエンジンを止めます。



メンテナンス

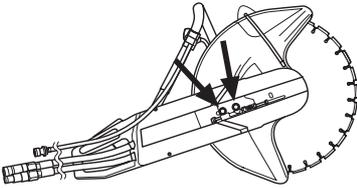


警告！点検やメンテナンスは、油圧ホースを外して行ってください。

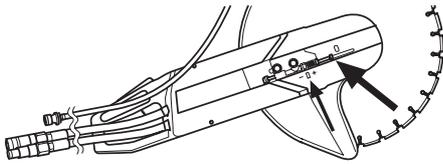
ドライブベルトの調整

ドライブベルトは完全密閉され、ほこりやどろから保護されています。

ドライブベルトを調整するときは、カuttingアームを固定しているナットを緩めます。



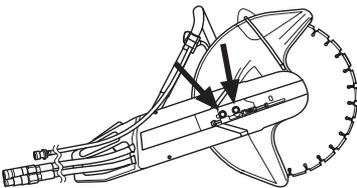
調整ねじを回して四角ナットがカバーのマークと反対側にくるようにします。こうするとベルトには自動的に適正な張りが与えられます。



カuttingアームを固定するナット2本を締め付けます。

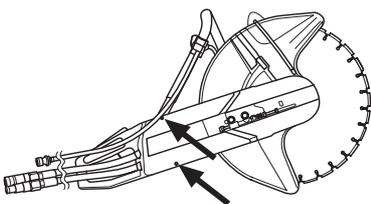
ドライブベルトの交換

最初にナットを緩め、ねじを調整しベルトの張りを開放します。



ナットを外し正面のベルトガードを持ち上げます。

カuttingアームはこれで緩み、本機から引き出すことができます。ガードを固定するねじ2本を外し後部のベルトガードを外します。

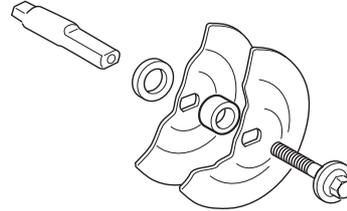


古いベルトを外し、新しいベルトに交換します。カuttingアームをパワーカッターに付け、調整ねじでベルトを調整します。新しいドライブベルトは30分ほど作動させた後、再度、張りの調整をしてください。

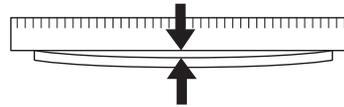
ドライブシャフトとフランジワッシャの点検

ドライブシャフトのねじ山に損傷がないかどうかを確認します。

ブレードとフランジワッシャの接触面に損傷がなく、サイズが正しくドライブシャフトを正確に回転し、異物が混入していないかどうかを確認します。

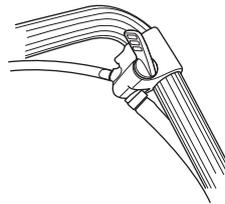


歪み、切り欠け、凹み汚れのあるフランジワッシャを使用しないでください。違ったサイズのフランジワッシャは使わないでください。

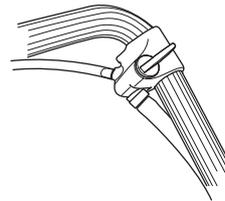


水冷

ウォータータップの機能を点検します。ウォータータップを開けるにはタップ開位置に回します。



水をため、タップを開位置に回します。



ウォーターフィルター

必要に応じて、フィルターを点検し清掃してください。



毎日のメンテナンス

パワーカッターを使用する前に、以下の点検を毎日行ってください。

- 1 ナットおよびねじが確実に締められているかどうかを確認します。
- 2 パワー源(油圧ユニット)の供給を点検しオイルの流れと油圧が適切であるか確認します。
- 3 油圧ホースとカプリングが汚れておらず損傷がないか点検します。
- 4 パワーカッターのホースをパワーユニットのホースと接続します。
- 5 パワー源を始動し、リアハンドルのスイッチを押してパワーカッターを作動し機能を点検します。スイッチを開放するとブレードが停止するかを確認します。
- 6 ブレードガードの点検します。
- 7 カuttingブレードの状態を点検します。
- 8 ドライブベルトの張りぐあいを点検します。



主要諸元

主要諸元	K2500
エンジン	
油圧流量、リットル/分/gpm	35-42 / 9-11
作動圧、バール/psi	130-140 / 2000
最大作動圧、バール/psi	150 / 2200
出力シャフト最高速度 (rpm)	4300
ドライブシステム、V-ベルト	SPZ
重量	
カッティングブレード取外時パワーカッター (kg)	8.3
騒音レベル	
使用者聴覚での騒音圧力レベル、ISO/DIS 15744 と ISO/DIS 11201 に準じて測定 (dB [A])	85
騒音レベル	
実測音響レベル dB(A)	106
保証音響レベル L_{WA} dB(A)	107
振動レベル	
(注 1)	
フロントハンドル (m/s^2)	7.5
リヤハンドル (m/s^2)	5.2

カッティング装置

カッティングブレード	最高周縁速度 (m/s)
16"	100

注1: ハンドルの振動は、ISO/CD 8662-4 に準じて測定。

EC適合宣言

(ヨーロッパのみに適用)

Husqvarna Construction Products, SE-433 81 Partille, Sweden, tel:+46-31-949000 は、単独責任のもとで宣言します。2006年のシリアル番号以後（年は、銘板に連続したシリアル番号と一緒に明記されています。）のパワーカッター **Husqvarna K2500** は、評議会指令（COUNCIL'S DIRECTIVES）の規定に適合しています。

1998年6月22日付け「機械類に関する」**98/37/EC**、付録 IIA

次の標準規格に適合しています： EN ISO 12100:2003, EN 982:1996, EN 792-7:2001

SMP Svensk Maskinprovning AB 社(Fyrisborgsgatan 3, SE-754 50 ウプサラ、スウェーデン)が Husqvarna AB の代わりに任意のタイプ認定を行ないました。証明書番号： 01/169/009 - Husqvarna K2500.

2006年11月14日 Partilleにて



Ove Donnerdal, 開発マネージャ

1150293-79



2006-12-20